

[No. 1] 正答 4

- 1 × 男は満18歳、女は満16歳にならなければ婚姻できない。(民法731条) また、未成年者は婚姻するためには父母の同意が必要である(民法737条1項)。よって、誤り。
- 2 × 長男だけが扶養の義務を負わなければならないとする規定はない。民法877条1項参照。よって、誤り。
- 3 × 夫婦別姓は認められていない。夫婦は夫または妻の氏を称さなければならない。(民法750条) よって、誤り。ただし、夫婦別姓に関しては1996年ごろから民法改正にむけた議論が活発化している。
- 4 ○ 正しい。
- 5 × 配偶者は法定相続人に含まれる。(民法890条) よって、誤り。

[No. 2] 正答 2

- 1 × 第一次世界大戦後ではなく第二次世界大戦後である。また、スイスは2002年、北朝鮮は1991年に韓国と同時に加盟している。よって、誤り。
- 2 ○ 正しい。
- 3 × 総会については、一般(重要問題以外)の決定は出席し投票する国の過半数、重要問題の場合の決定は3分の2以上の賛成投票が必要。この場合の重要問題とは、国際平和・安全の維持に関する勧告、各理事会の理事国の選挙、新加盟国の加盟承認などである。安全保障理事会については非常任理事国も含む15カ国のうち9カ国以上の賛成があり、常任理事国の拒否権が発動されなければ意思決定ができる。よって、誤り。
- 4 × 常任理事国は米・英・仏・露・中である。また、日本はまだ常任理事国になっていない。よって、誤り。
- 5 × 非軍事的措置では解決できない場合には軍事的措置をとることもできる。(国連憲章41条・42条) なお、決定は加盟国を拘束する。よって、誤り。

[No. 3] 正答 2

- 1 × 固定相場制においては長期的の不均衡が生じれば為替レートは変更できた。ちなみに、最初は1ドル=360円で固定されていた。よって、誤り。
- 2 ○ 正しい。
- 3 × ニクソンショック(1971年)は金とドルとの交換を停止した事件である。これをきっかけにして各国は変動相場制へ移行していき、キングストン合意(1976年)でIMFによって正式に承認された。よって、誤り。
- 4 × プラザ合意(1985年)はドル高是正を合意したものである。ちなみにアメリカの貿易赤字は解消されなかった。よって、誤り。
- 5 × WTOではなくGATTである。WTOはウルグアイ=ラウンドの成果の上にGATTにかわる機関として設立された。よって、誤り。

[No. 4] 正答 1

Aには公定歩合が入る。Bには公開市場操作が入るので、1が正しい。ちなみに、支払準備率とは預金に対する支払準備金の割合のこと。フィスカル・ポリシーとは経済情勢にあわせて裁量的に財政政策を行うこと。ビルトイン・スタビライザーとは税制や社会保障制度等を通じて景気の変動を自ら緩和する仕組みのこと。

[No. 5] 正答 1

- 1 ○ 家電リサイクル法は冷蔵庫・エアコン・テレビ・洗濯機について、製造、小売業者による「引き取り」「リサイクル」の両義務を定めたもの。
- 2 × 容器包装リサイクル法の実施などによって市場に流入する古紙が増えているので、古紙相場は急落している。よって、誤り。
- 3 × 2000年1月にダイオキシン類対策特別措置法が施行され、排出量の規制がなされた。よって、誤り。
- 4 × 事業の完了後ではなく、事業内容がほぼ固まった段階で実施される。また、環境アセスメント法はいろいろな問題点があるため自治体が追随するとは言い難く、東京都の計画アセスのように構想段階から環境保全を盛り込む制度は一部の自治体で取り組みが始まっている。よって、誤り。
- 5 × 再商品化の義務を負うのは事業者である。また、スチール缶、アルミ缶は再資源化率が高いので本法の対象外であるが、ペットボトルについては本法の指定容器包装になっている。よって、再資源化率はペットボトルよりもスチール缶、アルミ缶の方が高いので誤り。

[No. 6] 正答 4

- 1 × 浄土真宗を開いたのは親鸞である。また、『歎異抄』は弟子の唯円の著作である。よって、誤り。
- 2 × 曹洞宗を時宗にかえれば正しい。また、曹洞宗を開いたのは道元である。よって、誤り。
- 3 × 道元と栄西を逆にすれば正しい。また、臨済宗の寺院は京都の建仁寺である。よって、誤り。
- 4 ○ 正しい。
- 5 × 浄土宗を開いたのは法然である。また、踊念仏や遊行上人と呼ばれたのは時宗の一遍である。よって、誤り。

[No. 7] 正答 1

- 1 ○ 二十一か条の要求の内容は①南満州・東部内蒙古における特殊権益の承認、②漢冶萍会社の共同経営、などであった。
- 2 × 原敬ではなく加藤高明である。また、1925年に成立した普通選挙法は満25歳以上の男子に選挙権を付与するものであった。よって、誤り。
- 3 × 金輸出解禁を行ったのは井上準之助蔵相（浜口雄幸内閣）である。よって、誤り。
- 4 × 西安事件ではなく柳条湖事件である。よって、誤り。
- 5 × 1936年に起こったのは二・二六事件であり、高橋是清蔵相が暗殺された。犬養毅首相が暗殺されたのは五・一五事件である。ちなみに血盟団事件とは、前蔵相の井上準之助と三井合

名理事長であった団琢磨が右翼の井上日召率いる血盟団によって暗殺された事件である。よって、誤り。

[No. 8] 正答 1

- 1 ○ 正しい。
- 2 × 朱印船の貿易は徳川三代将軍・家光の時代に終わる。また、日本人町は東南アジアなど南方各地につくられた。よって、誤り。
- 3 × 江戸時代、朝貢関係はなく、徳川家康は朝鮮に対して善隣外交政策を行い、1607年以来、1811年まで12回にわたって、主に徳川将軍の代替わりごとに朝鮮から通信使が来日するなど、両国は、対等の友好国として国書を交換し合った。よって、誤り。
- 4 × 1609年、乙酉約条で朝鮮との正式な国交は回復している。よって、誤り。
- 5 × 倭寇の台頭は13世紀から16世紀である。また、幕府に対して倭寇の取り締まりを要請したのは明の朱元璋である。

[No. 9] 正答 3

- 1 × 本肢は七月革命の説明である。よって、誤り。
- 2 × ユグノー戦争とは1562年から1598年にかけて起こったフランス内部での宗教内乱のことであり、1789年に起こったフランス革命とは全く無関係である。よって、誤り。
- 3 ○ 正しい。
- 4 × ナポレオン三世の在位期間は1852年から1870年であり、1789年に起こったフランス革命とは時代的なズレがあり、ナポレオン三世とフランス革命との関係はない。よって、誤り。
- 5 × 本肢は産業革命後の欧米社会の説明である。よって、誤り。

[No. 10] 正答 3

- ア 中緯度高圧帯の影響により、ローマなどの半島部や島嶼部の都市の気候は夏に高温乾燥となり、冬に温暖湿潤となる。したがって、本肢はイタリアの説明である。
- イ ケスタとは地盤の差別侵食によって、一方が急崖、もう一方が緩斜面という非対称的な丘陵のことである。本肢はフランスの説明であるが、パリ盆地などがその例として有名である。
- ウ 本肢の説明であるノルウェーであるが、ソグネフィヨルドなどのフィヨルドが西岸に広がっている地形をもつ。また、ロフォーテン諸島やベルゲンを根拠地とした水産業が盛んである。
- エ 本肢にあるポルダーとは低湿地の干拓によって造成した土地のことをいうが、一般にはオランダからベルギーにかけての干拓地をいう。本肢はオランダの説明であるが、国土の約四分の一はポルダーが占め、酪農や園芸農業が盛んである。
- よって、3が正しい。

[No. 11] 正答 5

- ア アマゾン川は世界最大の流域面積をもち、ブラジルの北部を東に流れる。ブラジルの人口は約1億7000万人と世界5位であり、アマゾン川流域の大部分は熱帯雨林気候で、「セルバ」とよばれる大密林がおおっている。ブラジル高原はサバナ気候で、「カンポ」とよばれる草原が広がる。そこに位置するのはCである。
- イ アルゼンチンの東にラプラタ川が流れている。また、アルゼンチンは内陸部ほど乾燥度が高く、年降水量550mmの線を境に、東部の湿潤パンパと西部の乾燥パンパとに分けられている。湿潤パンパは高度150m以下の波状平原で、西部山岳地帯より風で運ばれた肥沃なパンパロームが厚く堆

積している。そこに位置するのはEである。

よって、5が正しい。

[No. 12] 正答 1

A ゴシックとはロマネスクに次いで12世紀中頃北フランスに起こり、各国に広まってそれぞれ発展をみた中世ヨーロッパの美術様式のことである。教会堂建築が主で、リブ・ボルト（肋骨穹窿）、バットレス（控え壁）、尖頭アーチを構成要素とする。広い窓をとり、高い尖塔や尖頭アーチなどの垂直線から生じる強い上昇効果の特徴としている。

B ルネサンスとは14世紀から16世紀にかけて、イタリアから西ヨーロッパに拡大した人間性解放をめざす文化革新運動のことである。この運動は古代ギリシャ・ローマ文化の復興という形式をとったので、「再生」を意味するルネサンスという言葉で表現された。文化革新は文学・美術・建築・自然科学など多方面にわたり西欧近代化の思想的源流となった。レオナルド=ダ=ビンチはイタリアルネサンスの代表的芸術家・科学者で、代表作に「最後の晩餐」や「モナリザ」などがある。ミケランジェロはイタリア盛期ルネサンスの彫刻家・画家・建築家で、「バックス」、「ピエタ」、「ダビデ」などの大理石像に天分を示し、またシスティナ礼拝堂の天井画「創世記」と同正面壁面「最後の審判」などを製作した。彼の動的表現はバロック様式への先駆となっていった。ラファエロは教会や宮廷の装飾壁画、祭壇画に傑作を残し、聖母像の絵も多く、サンピエトロ大聖堂の造営にもあたった人物として知られる。

C バロックとは16世紀末から18世紀中頃にかけて、ヨーロッパ全土に盛行した芸術様式で、ルネサンス様式の均整と調和に対する破格であり、感覚的效果をねらう動的な表現を特徴とするものである。ルーベンスはフランドルの画家で、豊かな色彩、壮大な画風で壁画「マリ=ド=メディシスの生涯」などで知られている。また、ベラスケスは写実的作品、特に肖像画の傑作を多く残し、「女官達」や「ブレダの開城」などが有名である。

D ロココとは18世紀、ルイ15世時代のフランスを中心に広まった装飾様式である。唐草・貝殻模様などの曲線を主にした軽快・繊細・優美な装飾性が特徴で、バロックと新古典主義の中間に位置する。

よって、1が正しい。

[No. 13] 正答 2

B 三十六計逃げるに如かず 三十六計とは中国古代の用いられた兵法・計略の数のことであり、作戦はいろいろあるが、逃げるべきときには逃げて身の安全を保ち、のちの再挙を図るのが最上の策であるという意味である。それが転じて面倒な事柄からは手を引いて逃げるのが一番よい、という例えに用いられる表現である。「逃げるが勝ち」と同義である。

C 五十歩百歩 『孟子』のなかに、五十歩逃げた者が百歩逃げた者を臆病だとあざわらうという故事がある。そこから小さな差はあるが、たいした変わりはないことを意味とする。

D 七転び八起き 何度失敗しても屈せず立ち上がること、転じて人の世の浮き沈みの激しいことをいう。

よって、2が正しい。

[No. 14] 正答 1

- 1 ○ 正しい。
- 2 × 「発掘」の「掘」の部首は「てへん」である。
- 3 × 「徐行」の「徐」の部首は「ぎょうにんべん」である。
- 4 × 「候補」の「補」の部首は「ころもへん」である。
- 5 × 「分析」の「析」の部首は「きへん」である。

[No. 15] 正答 2

最初に予定していた集まる子供の人数を  $y$  人、その子供 1 人あたりに配るカードを  $z$  枚とする。

$$y \times z = 374 \quad \cdots \text{①}$$

ここで 374 を素因数分解すると、 $374 = 2 \times 11 \times 17$  である。したがって  $y$  と  $z$  の組み合わせは (1, 374)、(2, 187)、(22, 17)、(34, 11) の 4 通りしかない。

実際に集まった子供は  $(y + 30)$  人、配ったカードは 1 人あたり  $(z - x)$  枚、全部のカードは  $(374 + 425)$  枚であるから、

$$(y + 30) \times (z - x) = 374 + 425 \quad \cdots \text{②}$$

①、②より、 $x = \frac{30z - 425}{30 + y}$  となり、 $x$  が整数であるためには  $y$  と  $z$  の組み合わせは  $(y, z)$

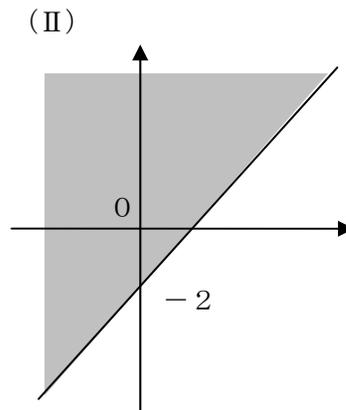
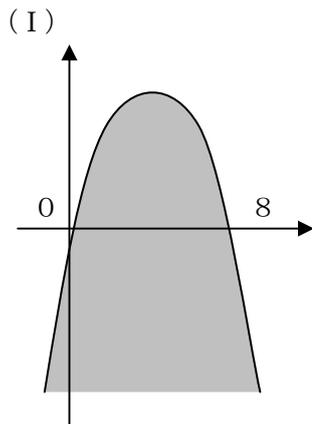
$= (17, 22)$  のみである。その時の  $x$  は 5 である。よって、正答は 2 である。

[No. 16] 正答 1

$$x^2 - 8x + 2y < 0$$

$$\therefore y < -\frac{1}{2}x(x - 8)$$

この式の表すグラフの領域は下図 (I) のようになる。



また、 $x - y - 2 < 0$

$$\therefore y < x - 2$$

この式の表すグラフの領域は上図 (II) のようになる。

(I) と (II) の範囲を合体させると、選択肢 1 のような領域になる。よって、正答は 1 である。

[No. 17] 正答 4

運動量保存の法則より、衝突前と衝突後のAとBの運動の和は等しい。今、衝突後のAの速度を  $v$  (m/s) とすると、

(衝突前) (衝突後)

$$6 \text{ m/s} \times 100 \text{ g} + 4 \text{ m/s} \times 200 \text{ g} = v \text{ m/s} \times 100 \text{ g} + 6 \text{ m/s} \times 200 \text{ g}$$

$$v = 2$$

したがって、Aは衝突後には2 (m/s) で右方向へ移動していたことになる。

よって、正答は4である。

[No. 18] 正答 2

- 1 × 波の進行方向に対して、媒質の振動方向が垂直に働くのは横波である。また、音波が縦波、電波は横波であるので、誤り。
- 2 ○ 正しい。
- 3 × 音の波は、山と谷の重なったところでは2つの波が打ち消しあって弱め合い、また山と山、谷と谷の重なるところでは強め合う。この現象は干渉とよばれる。よって、誤り。
- 4 × 救急車は止まっている場合は同じ高さの音でしか聞こえないが、近づいてくると高く聞こえる。したがって、波長が短くなると音は高くなり、長くなると音は低くなる。よって、誤り。
- 5 × 青い光は波長が短く分散されやすく、赤い光は波長が長い。よって、誤り。

[No. 19] 正答 3

プラスチックは合成樹脂のことであり、加熱したときに自由に成形できる熱可塑性樹脂と熱硬化性のもつがある。電気絶縁材としてよく用いられる。プラスチック全般は、塩素を含んでいるとは限らず、したがって燃焼した際に必ずしも塩素が発生するとは限らない。また、酸性樹脂、塩基性樹脂も存在し、それぞれ酸やアルカリに通すことにより、陽イオン、陰イオンを交換し再生することができる。したがって、BとEが正しく、正答は3である。

[No. 20] 正答 4

ブラウン運動とはコロイド粒子が溶媒分子（例えば水分子）に突き当たるために、不規則な直線運動をすることである。また、塩析とは親水コロイドに多量の電解質やアルコールの添加によって、水和している水が除かれコロイド粒子が沈殿することである。よって、正答は4である。

[No. 21] 正答 1

細胞膜は、細胞内外の出入りを選択的に調節する選択的透過性がある。核は細胞全体の生命活動の総司令部であり、各細胞小器官の働きを統制したりしている。

ウは、液胞の説明であり水分の調節を行うことにより、細胞の浸透圧を保つ働きがある。エは葉緑体の説明である。ミトコンドリアでは好気呼吸を行い、ATPを生産している。したがって、アは細胞膜、イは核、オはミトコンドリアの説明をしており、正答は1になる。

[No. 22] 正答 5

- 1 × 地球の地表付近の大気を構成する成分は多いものから順に窒素、酸素、アルゴンである。また、地球以外の惑星の大気の主成分は、CO<sub>2</sub>やH<sub>2</sub>、CH<sub>4</sub>であり、酸素や水蒸気はほとんど存在しない。よって誤り。
- 2 × 大気にも重さが存在し、その重さが地面に対して及ぼす圧力を気圧という。つまり、どの高度でも気圧は一定ではなく、高度が高くなればなるほど気圧は低くなる。よって、誤り。
- 3 × 気温は気圧の高低により上下する。空気が膨張する（気圧が低い）と温度は低下し、圧縮されると（気圧が高い）と温度は上昇する。したがって、太陽の影響ではなく、また風の強弱によるものではない。よって、誤り。
- 4 × オゾン層は成層圏に存在する。また、温暖化は主に二酸化炭素の増加が原因であり、温室効果が引き起こされることによって起こる。よって、誤り。
- 5 ○ 正しい。

[No. 23] 正答 5

<全訳>

高校時代に恋人同士だった81歳のDonna Baldwinと82歳のRene Hallは、二人が別々の道を歩んでから64年後の10月25日、結婚した。

1930年代後半、二人は学校のダンスパーティーでダンスをしたり、公園を一緒に歩いたり、アイススケートをしたりした。だが、卒業を機に二人は別れ、結局それぞれ他の相手と結婚した。

6月、Hallの妻が61歳で亡くなったとき、彼は昔のガールフレンドのことを思い出した。「私たちの関係は途絶えてしまっているが、ずっと気にかけている相手のことを忘れてはいまい。」と彼はつぶやいた。一方、Baldwinは1998年に夫を亡くしていた。

HallはBaldwinの電話番号を探し出し、8月に二人は会って昼食をすることになった。長い間二人は会っていなかったため、彼は彼女だとわかるように赤いバラを身につけて来てほしいと頼んだ。

ほんの数時間話したきりHallはフロリダに戻っていったが、二人はまた元の親しい間柄となり、Hallは電話でBaldwinにプロポーズをした。

- 1 × 二人は高校時代恋人同士だった。よって、誤り。
- 2 × このような記述は本文にない。よって、誤り。
- 3 × Hallは妻が61歳のとき死別した。よって、誤り。
- 4 × 文通をしていたという記述は本文にない。よって、誤り。
- 5 ○ 正しい。最終段落にその記述がある。

[No. 24] 正答 2

<全訳>

ある時計メーカーが時間の感覚に関する調査を最初に日本で行った（1996年）。その後、日本に続いて香港、ドイツ、アメリカとオーストラリアでも同様の調査を行った（1997年）。どの地域においても、男女の会社員を調査対象とした。

電話口で「ちょっと待って」といった場合、その「ちょっと」という時間は、日本においては32秒、香港では51秒、オーストラリアでは38秒であるという調査結果が出た。また、「ちょっとお茶でも飲みに来ませんか。」という場合の「ちょっと」は、日本においては1時間24分、香港では35分、オーストラリアでは1時間9分を意味しているという調査結果が出た。「すぐに対処します。」とい

た場合の「すぐに」という時間については、日本においては28分27秒、香港では16分12秒、オーストラリアでは29分7秒であるという調査結果が出た。

この調査対象にフランスやスペインなどのラテン系諸国が含まれていないのはまことに残念であるが、スペインに住んだ経験のあるほとんど全ての人は、「すぐに対処します」といった場合の「すぐに」は、スペインでは実際には「24時間のうちに」を意味するということにきっと気づくだろう。

- 1 × 第1段落にあるように、全世界一斉に行ったわけではない。よって、誤り。
- 2 ○ 正しい。第1・第3段落参照。
- 3 × 「国際電話でものを尋ねる」というケースの実験は行ったという記述は本文にない。よって、誤り。
- 4 × 「飲み会」に関する記述は本文にない。よって、誤り。
- 5 × 「便利な商売の世話になった」というような記述は本文にない。よって、誤り。

[No. 25] 正答 5

<全訳>

Williamは毎日ジェネラル・ミルズの工場で働いていた。その仕事は厳しく、泥まみれになるものだったが、収入は安定しており、Williamは不満を抱いていなかった。彼は家に帰ると毎晩、夕食を済ませたのちに絵筆をとっていた。

Williamは都市生活の厳しい現実を表現した町の風景を描いた。何年もの間、彼は毎晩絵を描き続けた。その作品は押し入れや使われていない寝室にだけおかれていた。彼は自分の作品を誰かに見せるということはしなかった。実際、彼は自分の趣味をなるべく人に話さないようにしていた。

ある時、彼の友人の一人が彼の作品を地域のアマチュア美術展にぜひ出品してほしいと頼んだ。しかしWilliamはこれを断った。翌年もその打診はあったがやはり断った。3年目、Williamはついにその説得に応じた。その結果、彼はグランプリに入選したのである。

徐々にWilliamは自分の作品を人に見せたくないという気持ちをもたなくなり、彼の描いた作品が地元の美術作品の目玉として町の図書館に展示されるようになった。そして、ある美術商がその作品を見つけ、時間をかけて彼を説得し、最終的にはWilliamの作品をもっと見せてもらえることになった。それからすぐに小さな展覧会が開かれ、Williamは今まで経験した中で最大級の評価を受けたのだった。

- 1 × Williamは仕事を辞めて画家になるという夢を抱いていたという記述は本文にない。よって、誤り。
- 2 × Williamを説得してアマチュア美術展に出品させたのであって無断ではない。よって、誤り。
- 3 × 友人に頼まれてから3年目ようやく出品し、その年に入選を果たした。よって、誤り。
- 4 × 美術商に注目されたのだから、誤り。
- 5 ○ 正しい。最終段落にその記述がある。

[No. 26] 正答 5

- 1 × 第1段落にあるように、これまでの科学者のイメージは「自らの好奇心の赴くままに、俗界を離れて、ひたすら真理を探究」し、「そこでの倫理は、ただひたすら真理に忠実」なことである。よって、誤り。
- 2 × 科学者が「専門家としてではなく、一般社会の一員としての倫理観を身に付け、行動する義務と責任がある」という旨の記述は本文にない。よって、誤り。
- 3 × 科学の発達科学者の倫理を変質させたわけではない。よって、誤り。
- 4 × 「一般社会においても専門家並みの経験や知識を備える必要がある」という旨の記述は本文にない。よって、誤り。
- 5 ○ 正しい。第4段落にその記述がある。

[No. 27] 正答 3

- 1 × 「他人とのかかわり合いを拒み、孤立する若者が増えている」という記述は本文にない。よって、誤り。
- 2 × 他人とのつき合いで、「利害のからまない純粋な関係を保とうとすることが多い」という記述は本文にない。よって、誤り。
- 3 ○ 正しい。第4・5段落に、その記述がある。
- 4 × 「純粋な人間であると評価できる」という記述は本文にない。よって、誤り。
- 5 × 「人間関係のトラブルの結果」に関する記述は本文にない。よって、誤り。

[No. 28] 正答 2

- 1 × 第2段落にあるように、「言葉を通して世界を理解する」とは言っているが「文章を書くことによって作りかえた世界が現実」であるとは言っていない。また後半部分に関する記述は本文にない。よって、誤り。
- 2 ○ 正しい。第2段落にその記述がある。
- 3 × 本肢の内容は本文にない。よって、誤り。
- 4 × 第2段落5行目にあるように、「言葉にできたことが私たちにとって『本当』のこと」といえるのであるが、「実は現実とはかけ離れたウソのことである」という記述は本文にない。よって、誤り。
- 5 × ロマンチストだと周囲に認められるかどうかという記述は本文にない。よって、誤り。

[No. 29] 正答 4

- 1 × 「演劇鑑賞に訪れる人」に関する記述は本文にない。よって、誤り。
- 2 × 能楽の魅力に関する記述は本文にない。よって、誤り。
- 3 × 「能の良さ」に関しての記述は本文にない。よって、誤り。
- 4 ○ 正しい。第2段落後半にその記述がある。
- 5 × 最終段落にあるように、能舞台の空間設定は「『必要なもの』と『必要のないもの』との人為的な調合」であり、空間設定が全く考慮されていないわけではない。よって、誤り。

[No. 30] 正答 2

指示語や繰り返されている言葉などに注目し、わかるところから繋がりをを見つけ、それを組み合わせさせていけばよい。

まず、Aの冒頭に「そのため」という指示語があるので、その指示内容を探す。するとDの「(小津監督は) 下からなめるように室内を撮ると落ち着くことを発見した」であることがわかる。したがって、D-Aと繋がる。

次にBでは小津監督の腹ばいについて、Fでは腹ばいの理由が小津好みのカメラ・アングルにあることについて、Eでは西洋と日本のカメラ・アングルについて書かれているので、B-F-Eと内容的に繋がっていることがわかる。

さらにB-F-EとD-Aの前後関係を考えるとA-Bという繋がりは考えにくいので、B-F-E-D-Aの順序となる。内容的な繋がりを確認すると、E-Aでは室内を撮るときの落ち着きを話題にしているため、正しく繋がっていることが分かる。

B-F-E-D-Aとなっているのは選択肢2である。最後のA-Cでは坐った時の視線の高さを話題にしており、この繋がりは正しい。

よって、正答は2である。

[No. 31] 正答 4

出典：本居宣長『うひ山ぶみ』

<現代語訳>

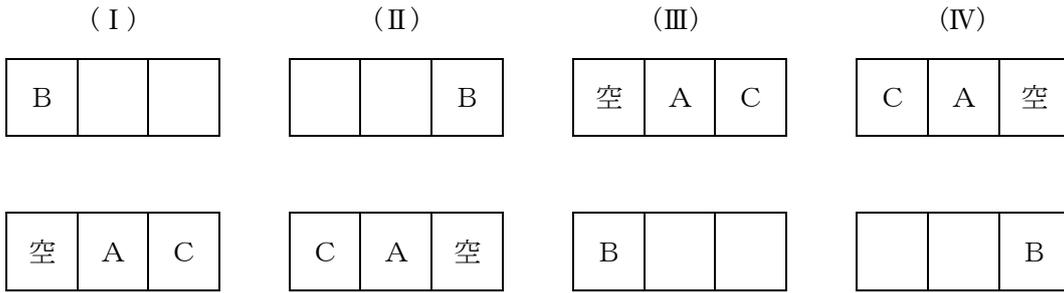
つまるところ学問というものは、ただひたすら長い年月をかけて、飽きたり怠けたりすることなく、励み努めることこそが重要なのであって、学び方はどのような方法であってもかまわず、そのような方法論をむやみに追い求めるべきではない。どれほど学び方がよくても、怠って努力しなければ、成果は出てこない。また、才能の有無によって成果に差異が生じるのは確かだが、その才能は生まれつきのものであるから、どうすることもできない。しかしながら、たいていの場合、才能がないといっても、怠らずに努力さえすれば、それだけの成果は出てくるものである。また、晩年になってから学問を始める人も、努力して励めば、思った以上の成果をおさめることがある。また、時間に余裕がない人も、時間に余裕がある人よりも意外と大きな成果を挙げるものである。したがって、才能が乏しいことや、晩年になってから学問を始めること、時間に余裕がないことによって、やる気をなくして、学問をあきらめてしまってはならない。とにもかくにも学問というものは、努力さえすれば、必ず成就できるものだと思えるべきである。完全にあきらめてしまうことは、学問をするにあたって極めてよくないことなのである。

- 1 × 長期間努力すれば成果は挙がる、と筆者は主張している。よって、誤り。
- 2 × 必要なのは才能や時間よりも努力だ、というのが筆者の主張である。よって、誤り。
- 3 × どういう型の人物が学者として成功するかという記述は本文にない。よって、誤り。
- 4 ○ 正しい。
- 5 × 学問を怠けることは恥ずかしいことだと筆者は言っていない。よって、誤り。

[No. 32] 正答 4

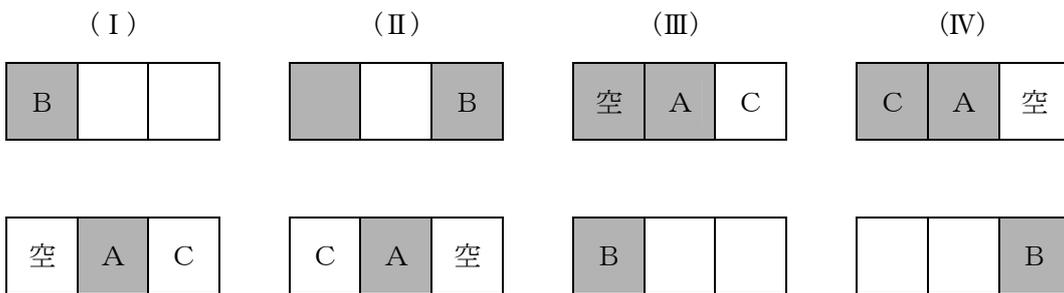
問題の①～⑥の場所に具体的に条件を当てはめて考えていく。

条件⑦、⑧より



が考えられる。

条件⑦、⑧より色を記入すると（色を塗ってあるのが赤色）、下図のようになる。



(III) において、条件⑦より①に赤色の車があるので (III) は成り立たない。

(IV) において、Eが④、⑤のどちらにも入らないため (IV) は成り立たない。

(I) においては、Eが②の位置に入ることが可能で、(II) においては、Eが②にはいることが可能である。

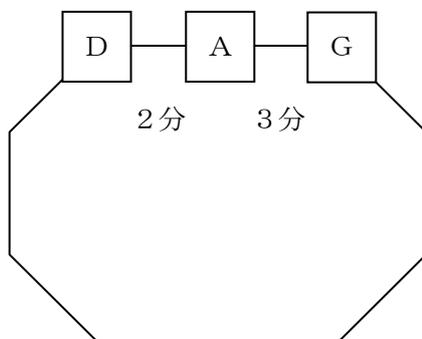
(I) (II) が成り立つことにより、④と⑥の位置が空となる可能性がある。

よって正答は4である。

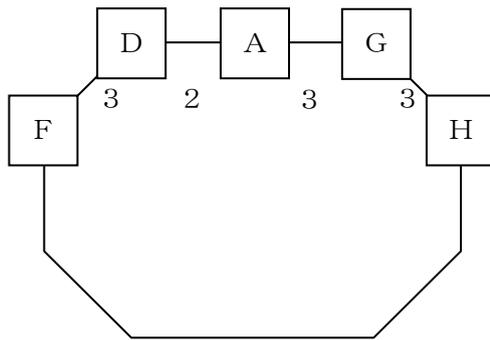
[No. 33] 正答 3

各駅の所要時間を比べA駅に近いところから埋めていく。

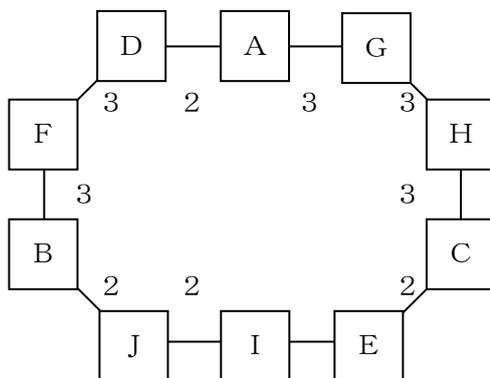
まずD駅（2分）、G駅（3分）がA駅の両隣だと分かるので下図のようになる（D駅、G駅はどちら側にきてもよい）。



次に所要時間が短いのはF駅（5分）とH駅（6分）であり、「両隣の駅までの所要時間はすべて2分又は3分」であるので、D駅→F駅、G駅→H駅とつながる。



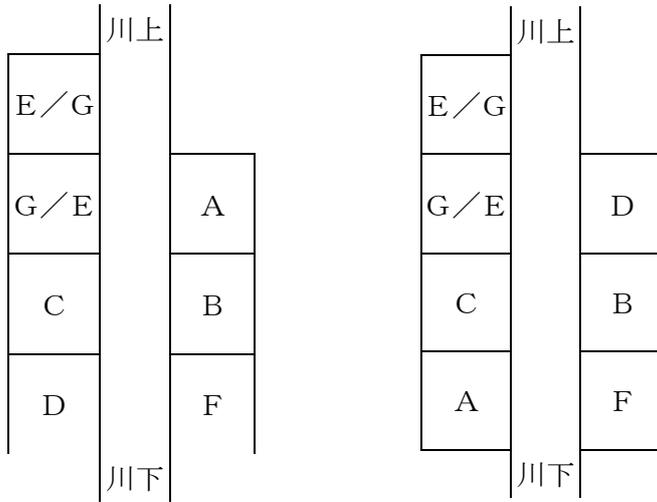
同様に駅の配置を考えていくと下図のようになる。（ただしI駅－E駅間の所要時間は確定できない。）



したがってそれぞれの所要時間は  
 B駅－H駅：11分または12分  
 C駅－F駅：11分または12分  
 D駅－I駅：10分  
 D駅－E駅：12分または13分  
 G駅－J駅：12分または13分  
 となる。よって、正答は**3**である。

[No. 34] 正答 4

条件ア～エを使って家の配置を考えてみる。Aの家とDの家の位置関係を基準にすると以下の2通りが考えられる。



ここで確定していないのはA、D、G、Eの家の位置であり、これらが確定する条件を選べばよい。よって、正答は4である。

[No. 35] 正答 1

類推の問題なので対応表を使って解いていくが、条件に論理・命題の要素も含まれているので注意が必要。

まず、1番目から3番目までの条件は以下のように置き換えることができる。

A音 → C読、 $\overline{C}$ 読 →  $\overline{A}$ 音

$\overline{B}$ 読 →  $\overline{C}$ 読、C読 → B読

$\overline{C}$ ス → Aス、 $\overline{A}$ ス → Cス

次に「3人のうち、読書が趣味である人は多くとも1人」なので、これを基準に対応表をつくる。

Aの趣味が読書の場合は表①のようになり、B、Cの趣味がそれぞれ確定する。Bの趣味が読書の場合は表②のようになりA、Cの趣味がともに確定する。Cの趣味が読書の場合は表③のようになり、Bの趣味も読書になってしまうため条件に合わない。読書を趣味にする人が誰もいない場合は表④のようになり、A、Cの趣味はそれぞれスポーツと音楽に確定するがBの趣味は音楽かスポーツのどちらかである。

表①

	A	B	C
読	○	×	×
音		○	
ス			○

表②

	A	B	C
読	×	○	×
音	×		○
ス	○		

表③

	A	B	C
読		○	○
音			
ス	○		

表④

	A	B	C
読	×	×	×
音	×	△	○
ス	○	△	

表①、②、④が成り立つことから、正答は1である。

[No. 36] 正答 5

総当りの表をつくって考える。(○:勝ち ×:負け △:引き分け)

まず、条件㉑より

	A	B	C	D	E
A			△		
B			△		
C	△	△		△	△
D			△		
E			△		

次に条件㉒・㉓よりEはDだけに負けたことが分かる。よって下図のようになる。

	A	B	C	D	E
A			△		×
B			△		×
C	△	△		△	△
D			△		○
E	○	○	△	×	

さらに条件㉔・㉕よりBはAだけに勝ったことが分かる。よって下図のようになる。

	A	B	C	D	E
A		×	△		×
B	○		△	×	×
C	△	△		△	△
D		○	△		○
E	○	○	△	×	

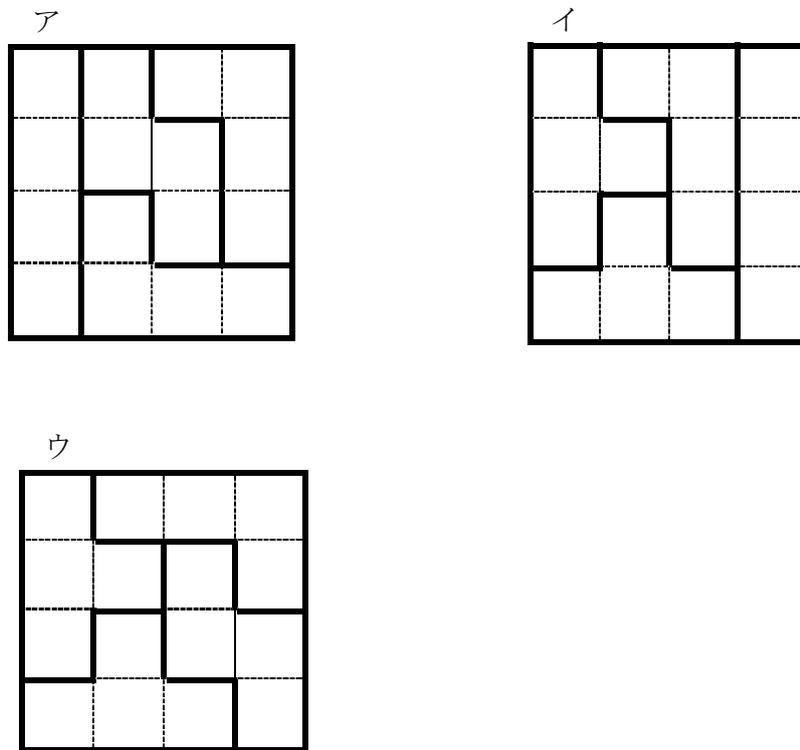
A対Dの結果はこの条件からは分からないので、結局表は下図のようになる。

	A	B	C	D	E	勝ち点
A		×	△	× △	×	1 or 2 点
B	○		△	×	×	4 点
C	△	△		△	△	4 点
D	○ △	○	△		○	10 or 8 点
E	○	○	△	×		7 点

よって、正答は5である。

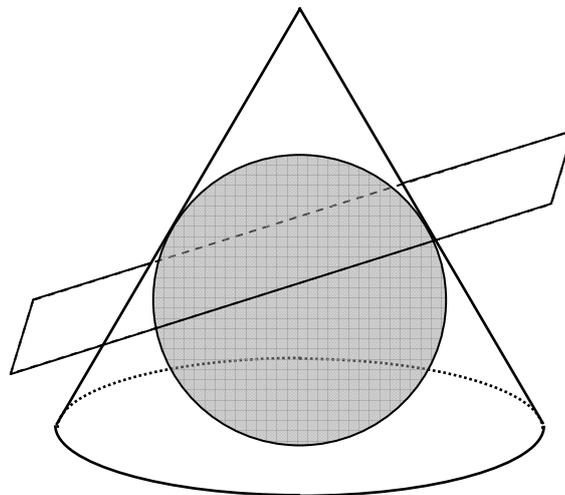
[No. 37] 正答 1

1つ1つを実際に並べて考えてみると、ア、イ、ウは下図のようにできるがエの組み合わせでは図Iのようにはならない。よって、正答は1である。



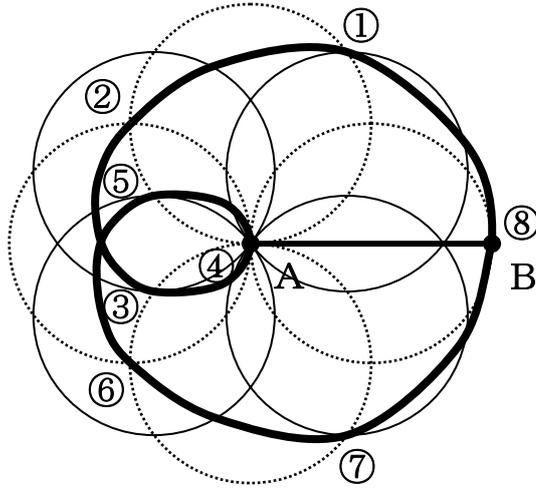
[No. 38] 正答 4

球を平面で切った場合その断面は円にしかならない。よって、2、3、5は誤り。また、選択肢1は底面と水平に輪切りにしたものであり、内接円がどちらかに偏って接することはない。よって、正答は4であり下図のように切られている。



[No. 39] 正答 1

円の回転と点Bの移動は下図のようになり、点Bの軌跡は①～⑧の順で描かれていく。



よって、正答は1である。

[No. 40] 正答 4

全体の仕事を1と置くと、A、B、Cはそれぞれ1日、 $\frac{1}{32}$ 、 $\frac{1}{96}$ 、 $\frac{1}{24}$ だけ仕事をするようになる。

問題文より、AとBが協力して4日間、AとBとCが協力してX日間（わからない日数をXと置く）仕事をする、ちょうど全体の仕事が1になる。よって次の式ができる。

$$\left(\frac{1}{32} + \frac{1}{96}\right) \times 4 + \left(\frac{1}{32} + \frac{1}{96} + \frac{1}{24}\right) \times X = 1$$

$$\frac{4}{96} \times 4 + \frac{8}{96} \times X = 1$$

$$\frac{8}{96} X = 1 - \frac{1}{6}$$

$$X = \frac{5 \times 12}{6 \times 1}$$

X=10（日間）よって、正答は4となる。

[No. 41] 正答 1

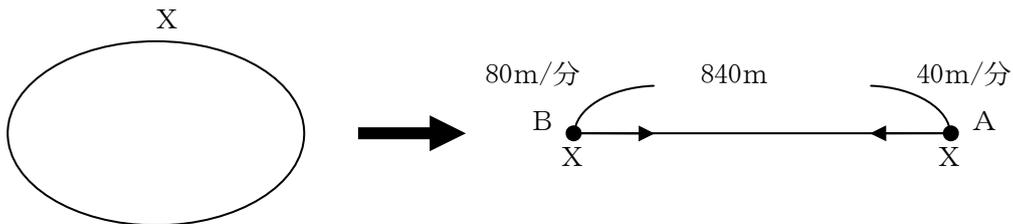
駐車している車の台数を100台とすると、問題文より下の表のようになる。

白	75台	国産	75台
		輸入	0台
赤	25台	国産	5台
		輸入	20台

ここで全体に占める国産車の割合が80%ということから国産車は計80台、白の国産車は75台、白の輸入車は0台になる。よって、正答は1となる。

[No. 42] 正答 5

円形の遊歩道を下の図のように直線にする。



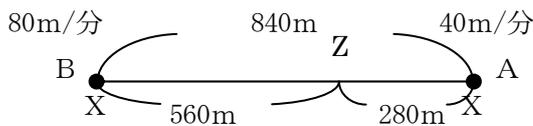
初めてすれ違うのに a 分かかるとすると次の式のようなになる。

$$80 \times a + 40 \times a = 840$$

$$120a = 840$$

$$a = 7 \text{ (分)}$$

財布を落とした点を Z とする。



Z 点において、A とすれ違ってから B は右方向に 6 秒間、つまり  $80 \times \frac{6}{60} = 8$  (m) 進む。A が B

を追い掛け始めるまでに、B は 8 m 進むので、Z 地点から A が B に追いつくまでの時間を b 分とすると、A が 100m/分で追いつくのは次式のようなになる。

$$(100 \times b) = (80 \times b) + 8$$

$$20b = 8$$

$$b = \frac{2}{5} \text{ (分)}$$

A は Z 地点 (560m) から、 $100 \times \frac{2}{5} = 40$  (m) 進んだ所、つまり  $560 + 40 = 600$  (m) 地点で B に追いついたことになる。

X 地点は 840m なので、残りは  $840 - 600 = 240$  (m) になる。よって、正答は 5 となる。

[No. 43] 正答 2

選択肢1～5の大小関係をそれぞれ場合分けして考える。

真ん中の数をXと置いて、問題の式 $A \times A \times B - C = 2003$ を文字式で表す。

1  $A < B < C$ の場合

$$(X-1) \times (X-1) \times X - (X+1) = 2003$$

$$X^2(X-2) = 2004 \quad \text{左式は成り立たない。}$$

よって、誤り。

(\*Xに13を代入しても、14を代入しても式が成り立たないため)

2  $A < C < B$ の場合

$$(X-1) \times (X-1) \times (X+1) - X = 2003$$

$$X^3 - X^2 - 2X = 2002$$

両辺に2を加えると、

$$X^2(X-1) - 2(X-1) = 2004$$

$$(X^2 - 2)(X-1) = 2004$$

$$X = 13$$

よって、正答は2となる。

3  $B < A < C$ の場合

$$X \times X \times (X-1) - (X+1) = 2003$$

$$X^3 - X^2 - X = 2004$$

両辺に1を加えると、

$$(X^2 - 1)(X-1) = 2005 \quad \text{左式は成り立たない。}$$

よって、誤り。

(\*Xに13を代入しても、14を代入しても式が成り立たないため)

4  $B < C < A$ の場合

$$(X+1) \times (X+1) \times (X-1) - X = 2003$$

$$X^3 - X^2 - 2X = 2004$$

両辺に2を加えると、

$$X^2(X-1) - 2(X-1) = 2006$$

$$(X^2 - 2)(X-1) = 2006 \quad \text{左式は成り立たない。}$$

よって、誤り。

(\*Xに13を代入しても、14を代入しても式が成り立たないため)

5  $C < A < B$ の場合

$$X \times X \times (X+1) - (X-1) = 2003$$

$$X^3 + X^2 - X = 2002$$

両辺から1をひくと、

$$X^2(X+1) - (X+1) = 2001$$

$$(X^2 - 1)(X+1) = 2001 \quad \text{左式は成り立たない。}$$

よって、誤り。

(\*Xに13を代入しても、14を代入しても式が成り立たないため)

[No. 44] 正答 2

確実にいえるものということなので、条件を満たす範囲で具体的な値を計算していく。

- 1 × 北海道、秋田県はともに収穫量50万 t 以上なので、両県とも50万 t として計算すると、北海道 $500,000 \text{ t} \times 0.61 = 305,000 \text{ t}$ 、秋田県 $500,000 \text{ t} \times 0.80 = 400,000 \text{ t}$  で秋田県の方が多くなる。よって、誤り。
- 2 ○ 福島県のコシヒカリを最低の40万 t で、青森県のつがるロマンを最高の40万 t として計算すると、福島県 $400,000 \text{ t} \times 0.58 = 232,000 \text{ t}$ 、青森県 $400,000 \text{ t} \times 0.42 = 168,000 \text{ t}$  で、福島県の方が多くなる。よって、正答は2となる。
- 3 × あきたこまちを最低の量、コシヒカリを最高の量として計算すると、あきたこまち $300,000 \text{ t} \times 0.26 = 78,000 \text{ t}$ 、 $500,000 \text{ t} \times 0.80 = 400,000 \text{ t}$ 、 $400,000 \text{ t} \times 0.09 = 36,000 \text{ t}$  で、計 $514,000 \text{ t}$  になる。コシヒカリ $500,000 \text{ t} \times 0.58 = 290,000 \text{ t}$ 、新潟県は50万 t 又は100万 t として計算すると $500,000 \text{ t} \times 0.81 = 405,000 \text{ t}$  又は $1,000,000 \text{ t} \times 0.81 = 810,000 \text{ t}$  で、あきたこまちがコシヒカリより多くなることはない。よって、誤り。
- 4 × 各都道府県の収穫量は具体的な数値は示されておらず最も多い県、少ない県は、この表からは読み取れない。よって、誤り。
- 5 × 表においてひとめぼれを生産している県は、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県である。しかし実際に北海道や青森県、新潟県でも収穫している可能性はあり、その県におけるひとめぼれの占める割合によっては順位が変わってくる。したがって、この表からだけでは読み取れない。よって、誤り。

[No. 45] 正答 1

- 1 ○ それぞれの年で幼稚園人数÷総数の値を算出して0.25%を超える県を探す。97年19.54%、98年24.65%、99年25.04%、00年24.69%、01年23.40%になる。よって、正答は1となる。
- 2 × 小学校の在学者数は99年597人、00年637人で増加数は40人、対前年増加率は6.7%になる。よって、誤り。
- 3 × 97年～01年の中学校の在学者数の総数は1364人で、00年を上回っていない。よって、誤り。
- 4 × 97年～01年の中学校の在学者数の総数は1364人で平均は272.8人になる。平均値を上回っている年は、00年と01年の2つしかない。よって、誤り。
- 5 × 総数に占める高等学校の在学者数の割合は、97年6.57%、98年6.87%で5%を下回っていない。よって、誤り。